



平戸の新星

仲間と紡ぐ 成長の軌跡

第48回

練習が休みの日にチームメイトと南部ライフアリーナで自主練習をする西悠真さん。小学2年生のとき、友達や先輩が楽しそうにサッカーをしている姿を見て、自分もやってみたいと思いサッカーを始めました。その年に開催された2022年FIFAワールドカップは、悠真さんにとって大きな刺激となり、

サッカーへの思いはさらに強くなったといえます。現在所属しているグランディオスFCでは、仲間と声をかけ合いながらプレーすることを大切にしています。連携して生まれた得点は何よりの喜びであり、サッカーの楽しさを強く感じる瞬間だと話します。

5月末の第52回美濃田杯（バーモンド杯長崎県大会平戸市予選）で優勝を経験し、個人としても平戸市や長崎県の強化選手に選ばれ、選抜チームとして大会に出場するなど、着実に成長を重ねてきました。

サッカーを通して出会い、共にプレーしてきた先輩たちは、今も悠真さんの憧れの存在として心に残っています。

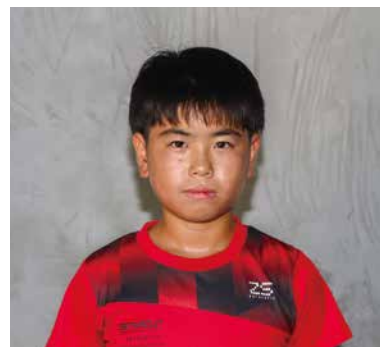
将来の夢はまだ模索中ですが、これまでの経験と出会いが力となり、悠真さんはこれからフィールドで成長を続け、その一歩一歩が、未来へとつながる確かな軌跡になっていきます。

『感謝の気持ちを忘れずに頑張れ！』

サッカーを通して、たくさんの友達をつくってほしいです。

そして、これからも感謝の気持ちを忘れず、大好きなサッカーを頑張って！

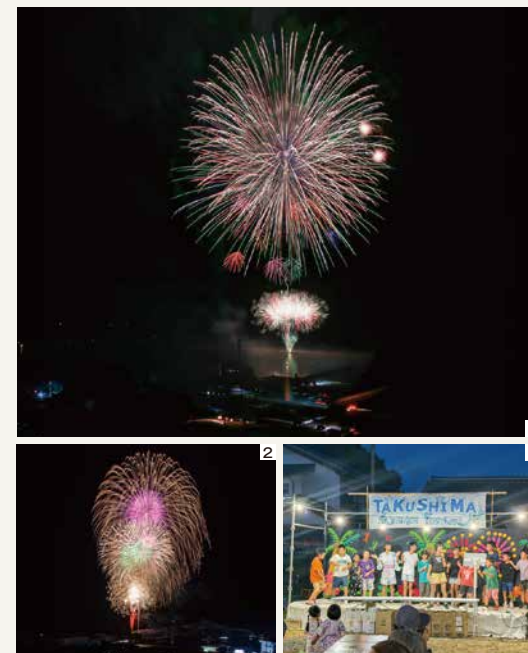
父 西 利貴 さん



野子小学校
6年
にし 悠真 さん
(野子町)

基本的にスポーツが好きで、野球やバレーなども、よくテレビ観戦しています。

夏を彩る地域の祭り



8月10日に「2026たくしま夏祭り」、12日に「第38回大島村夏祭り花火大会」、13日に「生月漁協花火大会」、15日に「館浦花火大会」が開催されました。各会場には大人から子どもまで幅広い世代が訪れ、出店やステージイベントを楽しみながら、地域の夏のにぎわいを満喫する姿が見られました。

夜空に打ち上げられた花火は色鮮やかな光を広げ、会場には歓声や拍手が響きました。また、海やまちを照らす花火の美しさに、訪れた人々は夏のひとときを楽しみ、笑顔があふれていました。

今年も、平戸の夏を彩る各地域の花火大会が、多くの市民や観光客に季節の魅力と楽しい夏の思い出を届けました。

(写真) 1_生月漁協花火大会 / 2_館浦花火大会 / 3_2026たくしま夏祭り

人口の動き

()は、前月との比較
令和8年8月1日現在

■総人口	26,686人 (-78人)	■平戸地区	15,261人 (-40人)
■男 性	12,791人 (-34人)	北部地区	9,199人 (-28人)
■女 性	13,895人 (-44人)	中部地区	2,880人 (-14人)
■世帯数	13,364戸 (-32戸)	南部地区	3,182人 (+2人)
■市民課戸籍住民班	22-9123	■生月地区	4,240人 (-17人)
		■田平地区	6,378人 (-17人)
		■大島地区	807人 (-4人)

交通事故件数

令和8年7月末現在

■件 数	17件 (17件)
■死 者	0人 (0人)
■負傷者	23人 (22人)

※()内は昨年同期

問 総務課危機管理班 ☎22-9101

火災救急件数

令和8年7月末現在

■火災	16件 (13件)
■救急	987件 (1,045件)

※()内は昨年同期

問 消防本部予防課 ☎22-3167